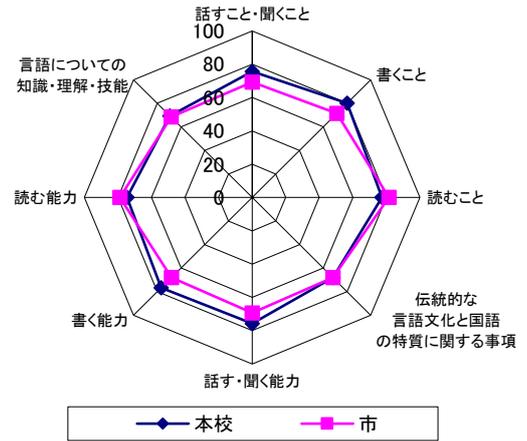


# 宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	75.7	69.3	73.4
	書くこと	80.2	71.3	74.6
	読むこと	77.4	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.1	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	75.7	69.3	73.4
	書く能力	76.8	68.1	71.7
	読む能力	74.6	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	69.3	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し方の工夫を考えながら、話し合いの内容を聞き取る問題では、正答率が95.8%で、市平均を10.1ポイント上回った。	・話の内容を大まかに捉えて、大事なことを正確に聞き取ることができるようにするため、聞き取ったことを要約させるなどの指導を今後も取り入れていきたい。
書くこと	○2段落構成で文章を書くことができるかに対する正答率が100%で、市平均を24.7ポイント上回った。 ○グラフの内容を読み取って、文章に適切に書き表すことができるかに対する正答率が60.4%で、市平均を5.8ポイント上回った。 ●国語辞典の資料を使って、意見文に書く内容を理解することができるかに対する正答率が50%で、市平均を16.3ポイント下回った。	・情報を読み取り、その内容を文章に表現する力を育てるために、資料を活用して書く活動を積極的に取り入れていきたい。
読むこと	○●説明文の内容を読み取る問題で、文章の内容を的確に読み取ることができるかに対する正答率が75%で、市平均を3.6ポイント上回った問題と、正答率が58.3%で、市平均を9.6ポイント下回った問題があった。 ●物語の内容を読み取る問題で、登場人物の心情を読み取ることができるかに対する正答率が83.3%で、市平均を3.1ポイント下回った。	・物語・説明文の読み取り方のポイントを指導するとともに、文章同士のつながりや段落相互の関係を解説したり、指導したりして、文章構成を捉えさせ、読解力の向上につながるよう指導の充実を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○三字の熟語の構成について理解しているかに対する正答率が87.5%と市平均を2ポイント上回った。 ○●第6学年配当漢字を読むことができるかに対する正答率で、市平均よりも上回るものや、下回るものがあった。	・漢字の読み・書きを定着させるために、ステップアップシートを活用した復習を取り入れていきたい。